

# 施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

## 1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 企業の交流・マッチングの推進	② 施策番号	3401
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 ささまざまな製造業が集積し、また新たな産業が発展していくまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	1 製造業の振興		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
市民生活環境部	産業観光課		

## 2. 施策の現状把握

### [1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市内事業者
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	商工会が主体となり異業種間交流及びマッチング事業を実施し、多業種の事業者に参加してもらう。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	国が進める産業再生事業においても、異業種間のマッチングによる新たなビジネスの創出は重要な柱と位置付けられている。

### [2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 創業した空き店舗数 計算式:	件	既存の商業を活性化させるとともに、マッチングに向けた事業者の意向を汲み取るためには、商工会と連携した経営相談が必要となり、市内において新たな事業者の増加に向けた取り組みが必須である。
② 計算式:		
③ 計算式:		

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考
① 創業した空き店舗数	件	目標値	3	3	3	3	3
		実績値	2	5	5	—	—
		達成率	66.7%	166.7%	166.7%		
②		目標値					
		実績値					
		達成率					
③		目標値					
		実績値					
		達成率					

### [3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方針
1	商工業振興事業	創業した空き店舗数	件	5	5	3	16,638	16,250	18,162	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						16,638	16,250	18,162			

### 3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	商工会が主体となり異業種間交流及びマッチング事業を展開していくことは、新たな産業の発展、地域産業の活力の増強につながる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	空き店舗を活用した新たな事業者の増加は、地域の活性化に益するものと考えられる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市内産業の活性化に向けて、商工会との連携は重要である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	新たなビジネス機会の創出に向けたビジネスマッチングを促進するため、商工会への支援は適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	商工会が異業種の交流の場を創設し、異業種の事業者をマッチングすることは新たな産業の創出につながるため、より重点化していくべきである。

### 4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	商工会が実施している事業のうち、とりわけ異業種間交流、マッチング事業を重点的に支援することによって、新たなビジネスの機会をより多く提供し、空き店舗を利用し、まちの活性化につなげてゆく必要がある。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

### 5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	異業種間交流事業の継続した開催に向けた支援。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	これまでの開催実績の調査・分析から泉南市の強みと弱みの検討。
中長期的対応 (3~5年をめどに取り組む改善案)	地域の主力産業及び新産業を見据えた新たなマッチングの検討。

### 6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	空き店舗への創業支援を通じた施策達成への取組が適切に行われている。 新たな創業支援を通じて、異業種間のマッチングが促進されるよう、施策達成に向けた展開を進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある